

直方の歴史と文化

直方のレトロ建築群 その四

江浦耳鼻咽喉科医院と

谷尾美術館（旧奥野皮膚科医院）

文 榊 正 澄

第 56 回

石原商店店舗と元前田園本店店舗の反対側に、間に一軒置いてクラシックな洋風建築が二軒並んでいます。

北側が現在も開業医を続けておられる江浦耳鼻咽喉科医院、南側が谷尾美術館（旧奥野皮膚科医院）です。

江浦耳鼻咽喉科医院とは

創業者の江浦医師は、明治34年（1901年）に当時の鞍手郡吉川村（現在の宮若市旧若宮町）から直方町に移転し開院しました。

9月号の旧讃井小児科医院の歴史と同じく、近隣に本社や邸宅があった貝島太助の誘いに応じたものとされています。

医院建築の特徴

木造瓦葺きの建物で、二階建ての本館と平屋の付属建築があります。建築様式としては明治初期の面影を残す、和洋折衷の開化式疑洋風建築とされています。

殿町地区に並ぶレトロ建築群の中でも明治の建立と最も古い貴重なもので、開院以来一貫して医院として

使用されており、建設当初の面影がよく残されています。



江浦耳鼻咽喉科医院

奥野皮膚科医院とは

創業者の奥野医師は、大正2年（1913年）に直方町に開院しました。

直方での開業の理由は、江浦耳鼻咽喉科医院からの誘いとされています。

90歳を超えても現役の医師として診察を続けておられた直方医師会の長老でした。

医院建築の特徴

現在の建物は、昭和15年（1940年）の火災の後に旧状に模して復元

再建された木造二階建ての洋風建築で、大正モダニズムを象徴するデザインとされています。

谷尾美術館はアトスペース谷尾と同じく、

①経済産業省認定 近代化産業遺産

②文部科学省登録 登録有形文化財

（洋館および和館、茶室を含む）

となっております。

谷尾美術館へ

平成2年（1990年）の奥野院長の死去により閉院。その後は谷尾欣也氏の私設美術館を経て、平成12年の同氏死去後に直方市に寄贈されて直方谷尾美術館となりました。



谷尾美術館（旧奥野皮膚科医院）

両医院の現状と見学

江浦耳鼻咽喉科医院は現役の開業医のため、内部の見学はできず路上からの見学のみ。谷尾美術館の内部見学（有料）は可能です。

文化財に関する問い合わせ

文化・スポーツ推進課社会教育係
(TEL 25-2326)

編集後記

補助輪なしで、はじめて自転車に乗ったときのことを覚えてますか。どこまでも行けそうで、風の音が新鮮だった子ども時代。11月17日、自転車道が全線開通します。もう一度、味わってみませんか。(Ki)

人の動き

■人口 56,636 人（－235） ■世帯数 27,174 世帯（＋115）
〔うち外国人 571 人〕
男 26,717 人（－111） 全て令和元年9月末現在
女 29,919 人（－124） （ ）は前年同月との比較

UD FONT

◆発行…直方市

〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>

◆発行日…毎月1日（月1回）

◆編集…企画経営課ふるさと情報係

TEL (0949)25-2236 / FAX (0949) 24-3812
E-MAIL n-koho@city.nogata.fukuoka.jp

◆印刷・制作…株式会社ワールドプリンティング

携帯電話向け情報提供サービス



直方市
ホームページ
市の情報がもりだくさん



情報メール
「つながるのおがた」
緊急情報、イベント情報など



直方市
Instagram
さあ、あなたもフォロー！



直方市バーチャル
ミュージアム
直方の文化を隅々まで